京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久卯一郎
發行所 京城新報社
仁川支局
東京支局

雜録

●不平家と良民　呉越

願はくは臣をして良臣たらしめよ、忠臣たらしむ勿れとは補弼の宰相が常に希ふ所にして爲政の理想たるべし、忠勞倦れて大義存す、國に忠臣出るは不忠の臣の存するあるに據る、孝子の寥々たるは世上滔々たる不孝の兒を戒めんが爲なり、良臣其位に居り良民其居に安んじ、社會を擧げてかの所謂良民の集合體たらしめば、天下永く太平に安んぜん、世の不平家畢竟無用の徒耳。

翻て思ふ、今日の國家社會が只管當時の狀態を維持し、昔習、是襲ふに止まらしめば即止む、或は改良と呼び發展と云ふ運動の常に必要なりとせば、何者か是に當り是が原動力となり、是が進歩の支持者となる、是が爲に死し、是が爲に倒れん、水流れざれば腐る、生物は如何、有生物は生を保つに何等かの運動を有せざる可からず、進歩と退化は相伴ひて萬有を支配す、保守と進歩は是社會の健全なる生活の兩輪、[illegible]社會の体形を維持[illegible]生命を與ふ、然から[illegible]

良民は保守を代表す、彼等は到底回天の事業を成の能に非ず、[illegible]ざりき、吉田松陰[illegible]、社會は良民耳にて足[illegible]する、進歩ある社會は良民耳にて組織せられず、不平家決して無用にあらざる也。

[illegible]者を坑に一覺に陳呉[illegible]記して乃ち洋夷に[illegible]能はざりき、李址[illegible]は進歩の生命を知ら[illegible]無くんば亡ぶ、社會[illegible]乃ち生命無けん。異の不平家は社會の安寧を破壞するにあらず、一時の安寧を偸む策を打破するにあり、彌縫せる保守思想を倒すにあり、時に或は危險と叫ばれん、一時の危險は永久の危險を除くに避くべからず、不平は[illegible]の專有にあらず、否ろ指導の任に當る者是を有する事より大、大にして國家社會は發展せん

一身に不平し一事に不平する者は宜しく其不平を大にして高からしむべし、然かれども不平家は其多きを要せず、良民の多々益可なると反對なりルーソー一世紀にして一人尙多し、松陰の如き絶ねて無くして稀れにあるべき人物、今日の青年擧げてルーソーたり松陰たらんとするは誤まるの甚だし不平家は生るべきものにあらずして作らるべきものにあらじ、若し猥りに不平家を學ばんか是獅子心中の虫害甚大なる事圖るべからず、我朝鮮の如き各方面にわたり、不平家の數多きに満ぐ、否似而非不平家の充滿せる頗稀なり半島何ぞ此多くを要せん。一人にて足れり、一人にて何餘れり。

●米國研究（一）

横濱正金銀行頭取　井上準之助君

亞米利加は御承知の如く新しい國で、コロンブスが亞米利加を發見したのは四百年程前で、彼處に人が住み出しましたのはヤット三百年、獨立戰爭のあつたのは百四十年前位に記憶して居ります、世界が亞米利加の勢力を認識しましたのは南北戰爭後でございます、南北戰爭當時は亞米利加の人口は僅かに三千萬人であつた、然るに五十年後の今日に於ては九千六百萬人、人口の上の進步から云ひましても亞米利加と云ふ所は急激な進步をした、五十年と言ひますと我國が海外と交際を始めた時と同じ年限で、國の年から見たならば日本と同じことゝ思ふのであります、それで非常な進步をして居るのです、併しながら從來は亞米利加と云ふ國は農產國であつて穀物なり、鐵なり、石炭なり海外に輸出して居つた、生產の最も巨額なる物は農產物であつた、然るに今日では私が觀察する所では已に農產國の域を脫し工業國にな濟して居る、それは御承知の通り此頃加奈陀・亞米利加の間に通商條約を結んで兩國共に臨時議會を開ひて討議中であります、それは亞米利加と加奈陀の間には總て輸出輸入に對しては御互に無稅にすると云ふことであります、それはどう云ふことかと言へば加奈陀は純然たる農產國であつて亞米利加は將來はどうしても農產が不足するから農產物を無稅にして入れる、其代りに亞米利加の工業品を加奈陀に無稅で輸出する、是は亞米利加に取りましては非常な重大な事柄であつて、今日の穀物と云ふものは九千萬の人口が數年後或は十數年後になつて一億五千とか二億とか云ふ人口になつた曉には國內計りでは農產物は足らぬ、又工藝品と云ふものは非常な生產過多になると云ふことからして又他に工藝品の需用國と云ふものがなければならぬと云ふところからして亞米利加の農業關係者間には非常に反對あるに拘らず恐らくは議決されたらうと思ふ、又極く最近の亞米利加と云ふ國は何事を差し置いても非常に支那を研究して居る

外事一束

▲江岸●● 停車場の第一戰の革軍捷報は所在匪徒の蜂起を促し常德南京安慶豐

▲南援●● 亂始り形勢觀望の官軍も動搖し宜昌確實に陷り帝國軍艦長沙に航す

▲長沙●● 屯在第三鎭近日行動を開始し三十六臺の貨車既に運搬の準備を了り

▲袁新●● に直隸河南山東に壯丁一万二千人を募集し兩三月訓練の後出盧討伐せん

▲●● 寡僚招致し準備成ると彼や兵權に遠ざ[illegible]五年各省の連絡及軍費に病ん

▲江岸●● の敗將北京に逃し王大臣恐怖色を失ふ滔勤叛將黎に投降を勸むとか

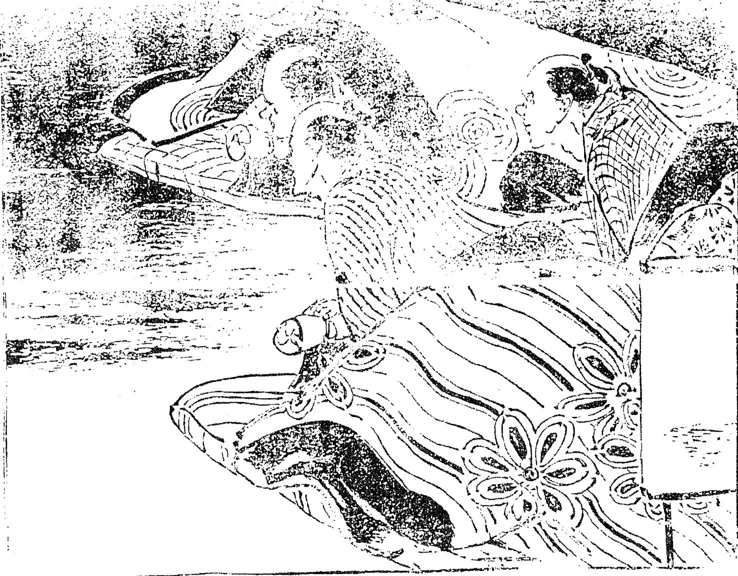
▲伊土●● ベンガヂ激戰し雙方死傷多し土紙親英論熾に仲裁近く現はれんか

▲獨佛●● 公果割讓に關し意見一致し交涉良好に進みつゝあり解決近からんと

梁川庄八　第二十回

小金井蘆洲演

庄「ウム忝けないぞ」徳「此刀は原田民部樣が御承で、御座りませうが戰場に於て持になりました、世にも稀なる村正の名刀でござります、此牢を破りなすつたら阿武隈川の入幡ケ崎まで御出下されまし、親爺は一足先へ船の仕度をして若樣の御出を待受け申し、直ぐに他領へ御案內致しますから一刻も早く御破りなさいまし」と差出す三郎村正の一刀、庄「悅ばしい過分に思ふぞ禰兵衛、實は乃公も名乘て出たならば立派に國法に照されて處分される事かと思の外、又敵の藩庭主水に引渡されるとは不法千萬、別けて斯の如き牢屋に入れ牢問拷問に掛けるとは無禮とや云はん非道とや云はん、亂暴極まる主水の咎の下に倒れんは、誠に殘念なれば立退きたく思へ共身は寸鐵も帶びず日々の責苦に力も拔け、牢を破る術もなく無念の淚を呑んで居た所、忠義無類の其方が此暴風雨を厭はずに忍び來つて我手に渡す此名劍此刀さへあれば破牢して阿武隈川の入幡ケ崎へ參るから、其方は一刻も早く忍出て待て居てくれ」徳「左樣なれば入幡ケ崎で緩くり御話を致ます、夫へ參つて御待受申ます、是と申も岩武隈明神樣の御利益……神事でござりますぞ、忝なし南無武隈大明神樣」と、岩沼の方に向て遙拜しつゝ駈出しました中に姿は早や見へずなりました、庄八正國スラリと拔放つ村正の一刀、一點の錆もなく明晃々として殴逆るばかり牢の隅の格子を一本斬つた、茶碗の缺片一つあつても破牢が出來ると云位で牢內では一切陶器類は用ゐぬ事に成て居たさうです、況して村正の名刀使用する人が豪傑なのですから、是は容易な業でせう、首尾よく一本斬破て出た暴風雨だとは云へ誰れも知らないのは幸と迂濶な話で、堀を乘越して出ましたが、五月廿八日の夜目先も知れぬ烏羽玉の闇、電の光を便りに大手前町奉行蓼川又左衛門の役邸へ乘込んだ、表門をドン／＼／＼と叩いた、庄「起ろ／＼」と叩いた、門番が驚いた　門「默れ、騒々敷い町奉行の表門を夜中起きろ起ろと叩くとは不屆至極な奴、何者だ」庄「イヤ狂人か」庄「狂人でも何でもない……一寸此處を開けろ……我は去る三月三日大手下馬先に於て親の仇討を致したる梁川庄八正國なり、依て當役所に訴へ出たるは大手前を汚せし罪の處分を受くる所存で有たに、如何なる御都合にや天下の法度を背きて、又敵の藩庭主水に御引渡し相成りし以來、日々非義非道の拷問に掛けられ、必外止み難く今晩此暴風雨を幸ひに破牢致した、是より當國を立退く、併し徒らに一命を惜むやうな卑怯未練な者ではない、藩庭主水の無禮非道を憤つて破牢なし他國へ罷越す次第であるから、若し召捕らんとならば速に追手を差向けられるやうに、如何なる處へ參れば迹跡を晦ます者ではないによつて、滯在の旅宿には奧州仙臺破牢の浪士梁川庄八の宿札を掛けて置くから、何時たりとも召捕に參られよ、當れ館の掟に照して處分するとならば、甘んじて規律に服する心得である、謂れなく又敵の手に苦しめらるゝは武門の恥辱此上なし、名を惜み身を潔よくするは勇士の本意である、若又此場に於て取押へるとも有ならば遠慮なく我に繩打て見よ」と呼はる聲雷の響きに和して物凄く、詰合の者は震ひ上つて了つた　甲「オイ／＼同役何とした……是は聞ひて乙「マア靜にしなさい……へぬ體にして內々にして置くが宜かろう　丙「ううか　乙「大体藩庭殿が家老の權威を笠にきて、牢に入れて朝夕拷問に掛けるとは無法千萬な話だ、梁川殿は偉い方だから破牢して當國を立退く……と云のは無理じやあない　甲「全くだ、迂濶に出て怪我でもしては詰まらないから寢て了たう　丙「然うだ彼の云所は道理だ、道理に叉向ふ我々ではないから、マア／＼知らぬ振をして寢て了ふが宜かろう」と銘々息を殺して寢たふりをして了つた、庄八は再三呼はつたが何の答もない者ですから　庄「夫では立退き申すぞ」と其儘仙臺の城下を立去りました、破牢をした者が町奉行所へ屆けて立退いたと云のは珍らしい話です當夜詰合の者が餘り意氣地がないやうですが然うぢやない、庄八の云處が道理で尤千萬だし、庄八が平業の行狀正しく輿望が有たからでございます



廣告

京城新報

詔穆明らかとなる
拓殖總裁の鮮人教育勅語發送

嚮號本紙報道せし如く我允文允武天皇陛下には朝鮮人教育に關し優渥なる勅語を下し賜ひ西園寺首相之を捧持して元田拓殖局總裁に傳へ、元田總裁は之れを寺內朝鮮總督に發送せりと。朝鮮教育令は十一月一日より愈々實施さるゝ事となり、鮮人教育の方針も之に由て一通り定まれる時に當つて、鮮人教育勅語を下し給ふ。想ふに教育の神髓たる倫理修身の大綱は此の勅語を本とせざる可からざるや論なく、延て新附の臣民たるもの須らく聖旨の存する所を奉體して忠良の誠を盡すべく、之を實行するは倍々奮勉努力して聖慮に副ひ率るべきは更めて切言すべくもなし。而かも吾人は此優渥なる勅語が元來拓殖局總裁の手より寺內朝鮮總督に向け送達せらるゝ事となりしに就て、拓殖政務統一の端茲に開かれしものなるを信ずると共に吾人平素の主張が政府の執る所と近接せんとするの兆あるを喜ばずんばあらず。凡そ植民地統治の目的は、植民地經濟の獨立を見るにあり。如何に植民地の制度典章其美を極むと雖も經費資金を母國の財帑に俟つの間は決して統治の成績を誇るに足らざるなり。況んや我植民地の如き試驗時代に屬するものにあつては、何事も殆んど母國の財力に賴らずんば成し能はざるに於てをや、之を以て中央政府は常に植民地經營と國家財政の關係に顧慮して、無謀なる統治計畫を立て自己の功名をのみ念とする植民地統治當局者を制肘する所なかる可からず。吾人此見地よりして曾て拓殖局の權限を大にして各植民地政務の統一を劃するの必要なるを論せしこともあり。然るに當時總督府の御用紙は厄鬼となつて、朝鮮總督は天皇に直隸せる最高機關なるを唱へて暗に中央政府の意によつて總督の統治方針の動かされざるいふを仄めかす等頗る吾人言議の排斥に力めたるも、苟も政治上の異理にして存在せる限り唯一官人の益をのみ念ひ國家の利益に至つては毫も顧みざる御用紙の議論が世に容れらるべき筈なきなり。宜なり、現內閣が拓殖政務の統一上如何に拓殖局を重大しをれるかは今回の朝鮮教育勅語が朝鮮總督に直接下されずして拓殖局總裁の手によつて送達せしむる事となりしに由て既に世に證明せられたり。吾人は現內閣今回の措置を目して流石に憲政の軌道と歩みつゝある政治家の態度なりと大に稱贊せざるを得ざると同時に、今後半島統治上に付ても、克く此態度を持して統治當局者を駕御し以て半島經營の目的を大成せんことを切望して止まざる也。

東京電報

▲教育勅語發表期　天皇陛下には朝鮮教育勅語を賜はり元田拓殖總裁は廿六日寺內總督に向け發送したれば總督府到着の上東京京城兩地に於て同時に發表さるべし

▲九江陷落公電　廿六日外務省公電に依れば革命軍は刃に衂らずして廿三日九江を占領し軍政を布き秩序を維持す支那軍艦は道臺を收容し上流に逃れ革命の一汽艇を拿捕せり

▲營口局と電報　營口電　報局は羅馬綴邦文電文を開始せり

▲露國海路終航　露領沿海州海路は十月二十三日終航を告げ交通杜絶の旨二十四日在ニコライスク鈴木領事より電報ありたり

▲地方政策刷新　內務省にては地方行政の刷新を圖るべく時々事務官を派遣し視察誘導を努めつゝあるも機に臨み又變に應ずるの監督を缺き居る者あり然れば今後誘導啓發に關して一層注意を加へざる可からざる者あれば特に巡視官を設くるに至るべしと

▲鹿兒島縣賜金　鹿兒島縣下に於ける暴風雨被害少からざる趣き天聽に達し御救恤金として九千圓御下賜の御沙汰あり渡邊宮相は旨を体し谷口同縣知事に傳達の手續を爲せり

北京特電

▲袁總督出發遲延理由　袁世凱氏は蔭昌氏を排斥せんとせしより蔭昌氏不平を抱き北京政府に向け抗議を申込めり袁の足疾のため出發を延期せるは之が爲めなりと

▲資政院の決議　資政院に於ては時局救濟として趙爾豐瑞總督盛宣懷等を斬るべしとの提案を可決せり

▲蕪湖電信不通　上海發某所に達したる電報に據れば二十四日午後より蕪湖よりの電信不着となれり

▲安慶地方不穩　安慶よりの報によれば同地には匪徒正に蜂起せんとするの形勢ありて極めて不穩なり南京にても外國人も又動搖しつゝあり

▲革命軍の戰略　漢武の革命軍は戰略を二つに分ち一は信陽の官軍を擊破して北行し一は長江に沿ふて南下上海に向ひ以て官軍の輸送を障斷し確實に長江一帶の地を占領せんとするものゝ如し

▲大原府危險　大原府の軍隊內は同時にても出動を爲し得べく目下市內は動搖なきも官軍の如何に依りては或は勃發せんとす

▲政府募債失敗　清國政府の千二百萬兩國債募集は不成功に了れり

▲蔭昌殺さる　征討軍を率ゐる官軍大將蔭昌に屬せる一將急に叛軍に投じたる爲部下皆之に倣ひ終に蔭昌は殺害せられたり

▲支那政府軍資金缺乏　支那政府は軍資金缺乏の爲め內帑金二百万兩を支出す

▲廣東も叛軍占領　廣東は全く叛軍の手に歸したり

伯林電報

▲伊土兩軍死傷　伊國政府の檢閲を免れたるトリポリーよりの報導に曰く伊土兩國の死傷は四千に達し伊國軍は目下ベンガジーに上陸せり

▲英人殺害　トリポリトリポリーに於ける英國領事は負傷し多數の英人殺害せられたれば英國政府は此の禍根の說明を伊國政府に求めたり

桑港特電

▲六千の匪徒蜂起　メキシコ來電に依れば六千の匪徒蜂起し市の附近にて暴行掠奪を恣にしつゝあり爲めに同地方は人心恟々として商業は全く杜絶の狀態に在り

雜報

●天長節祝賀次第　來る十一月三日天長節祝賀次第政務總監より各部長官、李王職長官、京城府尹、朝鮮貴族、總督府中學校宛二十七日左の通り通牒ありたり

總督は前十時より十一時に至る間總督官邸に於て左記各員の祝賀を受けらる

△總督府並に所屬官署（京城龍山）勅任官一同
△總督府各部　高等官三等以下は各總代一名判任官は各總代一名
△所屬官署　長官は各自の官署員よりの祝賀を受けて後總督府官邸に參集其の旨總督に申報す
△李王職職員　前項に準ず
△中樞院議長、顧問、贊議、副贊議
△朝鮮貴族一同　服裝は大禮服（用意なきものは燕尾服へ朝鮮古禮服着用差支なし）

●軍司令部と祝賀　軍司令部にては來る十一月三日の天長節に際し同日午前九時所屬各部隊の將校及同相當官は同部に參集の上御眞影を拜しそれより一同祝盃を擧ぐる筈なり

●新義州に清國領事館　清國政府は豫て新義州に領事館を新設の計畫ありしが今回愈々設置する事に決定し既に同領事として王克均氏任命されて二十六日同地に通譯官將道南氏及家族同伴の上着任したり而して同領事は開館事務打合せの爲め兩三日中當地に來京の筈なるが右は當分の內同地清國人會議所に於て假事務を執り明年陽春を待つて本館を開くに至るべしと云ふ

●定例長官會議　二十七日午前九時三十分より總督府に於て定例長官會議を開き寺內總督、山縣政務總監、各部長官、警務總長列席し政務の打合せを爲し正午散會したり

●驛屯土收納規程　二十七日訓令第八十一號を以て驛屯土收納規程發布されたり

●野田代議士談

▲移出關稅撤廢　我輩は朝鮮はこれで七度目だ、最初は二十八年で丁度馬關談判の眞最中李埈鎔がフン縛られた折ちやつた、最近は四十年の秋であつたが今度來て見ると沿線の米なぞも大變良く稔つて居る樣だ、米の移出稅はまだ存續して居る樣だが米に限らず一般の移出稅は廢止した方がよかろうと思ふ、總督府の收入減少などは工夫の道を立て是非廢すべしだ、然し內地の移入稅を撤廢するのは別問題だね我輩の郷里は福岡だが一反歩五圓からの課稅だ之を朝鮮の農民の五十錢位の課稅者と競爭させるのは議論のある所だろう、內地の負擔は實際隨分酷い、朝鮮の重なる所得は農民の收入であろうと思ふがされば迚て內地の農民を此上苦しめるわけにも行かぬだろう哲や双方忍耐しなければならん

▲今後の財政　朝鮮の財政上の獨立は頗る遼遠の事で始終內地から補給して行かねばならぬ昨年の議會で五千萬圓斗の借金を認めたがもう二千四百萬圓から借りて居る、土地調査が濟んで賦課の標準が立つたらセメて道路河川等の地方費斗りでも此地で自辨する樣にしなければ內地人も苦しいうれで八年後土地調査完成の曉になつたら早速財政策を立てゝ貰ひたい

▲併合後の事業熱　は併合前より低いやうだとの問かね夫れは我輩能くは知らぬが要するに朝鮮といふところは何も殊特の物產がないところだからね夫れに會社令などは有つても無くても何うでも宜いぢやないか事業を起すものに對してはヤレヤラせるがヤラせて見て夫れで惡いと思つたら何んな取締でもするさ要するに政治の要道は多數黎庶の利益を圖るにありだ中には質の好いものもあれば惡いものもあるだらうが夫れは問題にはならぬ

▲民團存廢問題　之れは我輩は存續して置くが可からうと思ふ（但し名義は何うでもよい）兎も角民團には歷史があるヲマリ在鮮居留民が幾多の困難と辛苦とを經て築き上げたものであるから先づ當分は存置するがよいソコで朝鮮人が追々と文明の思想を備ふるやうになり內地人と同じく立憲國民として總ての權利を附與しても差支ないやうになつたならばドシドシ鮮人を驅つて民團側に加入させるがよい併し此の意見は突嗟の答だから大に反對者があるかも知れんテ

▲東拓の移民事業　過回の用向は棉花協會の用向であるから會社には餘り關係はない併し我輩は大に會社に緣故を有して居るから却つて君達から腹藏なく會社に對する批評を聽きたいものだ移民も資格の撰定には大分困難を感ずるだらうが要するに朝鮮の移民は勸誘の如何に依る事は言ふ迄もない何にをいふても田舍の小作人のことであるから多年住み馴れた故鄉を後にして異境に來るなどいふことは容易なことではない村長さまのところへ腰を曲げながら伺ひに行つて村長から「夫れは廢した方がよいだらう」などゝいはれると直きに其の氣になつて中止する夫れであるから事情を說いての勸誘が大切だ要するに朝鮮はサーベル政治が將來果して成功するか何うかは疑問だテ

●伊藤公爵返電　伊藤博邦公は既報本社が發したる故公爵追悼の電報に對し二十六日夜着左の返電を送られたり

亡父公爵の二週年祭に際し貴社が送られたる御懇電を拜謝す

京城新報社殿　伊藤博邦

●文官加俸令改正　二十四日勅令二百六十九號を以て朝鮮臺灣滿洲及樺太に在勤の文官俸給令中改正せられたり其の內容は試補及六級俸以下の判任官の加俸は四十圓迄を試補及六級俸以下の判任官及見習の加俸は月額四十圓迄に改正されたり

●京城府徵稅成績　由來京城府は御膝元とて徵稅の定めなく從つて人民に納稅等の觀念は皆無なるを以て併合と同時に地方同樣徵稅の制を實行するは困難なるべしと當事者も大に苦慮しつゝありしが本年五月下級行政機關として京城府を五部八面に分ち部長面長を任命として徵稅をなさしめ居れるが府內の諸稅調定額は國稅約八万圓地方費九萬五千圓衛生會費六万八千圓驛屯賭收入三千五百圓合計二十一萬六千餘圓なりだ然して第一期分國稅調定額家屋稅二萬千四百六十九圓に對し九月三十日現在收入一萬九千五百五十二圓即ち九割一分酒稅調定額四千七百七十一圓に對し同收入三千二百〇五圓即ち六割七分にして衛生會費は調定額六萬八千百八十四圓に對し六萬三千六百六十七圓九割三分の收入なり尙ほ地方費は完納成績極めて良好なりと

●東拓貸出金概況　東拓金融部に於ける貸出金高は既報の如く七十一万余圓にして其內二十餘萬圓は公共團体に殘部は個人又は會社等に貸付し年賦償還に屬する分三十万三千餘圓なり此他は定期貸付にて利率は年一割二步內外なり而して同社創立以來借入申込總額五百餘萬圓に達せるも擔保物件不確實なるため自然貸出額の減少を見る譯なり當借入者の資金使用の目的は水利灌漑提防工事費又は殖林果樹栽培養蠶養豚等の事業費に充用しをるものゝ如し云々と東拓金融部員は語れり

●英大使の出發　滯京中なりし英國大使マグドナルド氏は二十七日午前九時南大門驛發歸東の途に就きたり停車場には山縣政務總監、小松局長、明石總長、市原朝鮮銀行總裁、外波少將、兒玉會計局長其他文武官民の見送り盛んなりし

●京城民會開設　二十七日午後より民會を開き委員會に於て調査したる昨年度決算の報告を爲せり

●商議役員會の議事　既報の如く京城日本人商業會議所にては二十六日午後七時より役員會を開き左記の事項に就て協議したるが結局（一）は會頭決定後更に協議を遂ぐること（二）は二十七日深水副會頭推辰馬山口書記長の三氏會社を訪問し交涉を爲すこと（三）は京城府尹に交涉し場合によりては總督に陳情書を提出することゝなし九時散會したりと

（一）會議所創立二十五年記念祝典舉行に關する件
（二）京龍電燈料及引込料引下の件
（三）土地賣買證明手續遲延甚だしき爲め金融圓滑を缺き一般人民の被る不利實に大なるを以てこれが手續を迅速たらしむる件

●宇佐川總裁の歸京期　北鮮地方視察中なる宇佐川東拓總裁は豫定より早く視察を終へたるを以て十一月三日頃歸任すべしと

●清總領事の義州行　別項新義州館開設敷地及事務打合せを兼ね三十日當地清國總領事は新義州[illegible]

●井上正金副頭取の入京　横濱正金銀行副頭取井上準之介氏は大連支店の井上支配人を伴ひ廿六日夜入京[illegible]に投宿せり

●蛯漁獲計畫　……岡十郎氏談……

今回渡鮮の用向は重もに平安道江口の蛯漁獲に就てなり同江口の蛯漁獲は有名なるものに其の數又頗る多いが從來朝鮮人にして之れが漁獲に從事するものなきに非ざるも其の方法が幼稚なるを以て從つて漁獲高も少量なり予は夙に爰に見るところあり方に於ける日鮮人の有志と共に會社を起し大に蛯漁獲の發展を圖らんとす而して之れが方法は最初支那式の漁獲法に則らんが爲め支那人の漁夫を雇ひ旁朝鮮人をして練習せしめ行く行くは一面の目的を以て朝鮮人に漁獲[illegible]針なり漁船漁具は會社に於て貸與し一方資金を供給して大に發達を圖らんの希望なるが若し[illegible]

●檜垣道長官の歸任　管內[illegible]中なりし檜垣京畿道長官は廿[illegible]

●遠藤軍醫正の渡歐　平壤[illegible]三等軍醫正遠藤道孝氏は[illegible]より步兵第二十九聯隊を命[illegible]

●竹本少佐の送別會　軍司令部[illegible]の將校團は今回高崎步兵第[illegible]に榮轉したる步兵少佐竹本[illegible]爲めに盛大なる送別會を開[illegible]目下準備中なりと云ふ

●竹本少佐の出發　軍大附[illegible]佐に昇任し步兵第十五聯隊[illegible]れたる竹本少佐は來る十[illegible]任すべし

●スター博士講演　京城基督教青年會主催米國シカゴ大學教授人類學の大家スター博士の講演は二十八日午後七時より同日午後[illegible]しが都合により同日午後三時[illegible]することゝなれり會場は南大門通り[illegible]

公人私人

▲野田卯太郎氏（衆議院議員）　廿六日[illegible]
▲井上準之助氏（横濱正金銀行副頭取）　廿[illegible]
[illegible]
▲柳下友太郎氏（海軍技師）　廿六日龍山行
[illegible]　廿六日水原行
▲內田良平氏　近日來京

京城手形交換高

廿七日　[illegible]

▲治外法權　[illegible]

●總督府醫院を視る

(四)廿一日午後三時　覆面冠者

看護婦の言葉及態度の横柄なのは醫者樣の眞似をするからだ、不親切では無いのでギドルのだ、プルのだ、ガルのだ、病人が醫師に向つて『先生樣何々を食べて宜しいでしようか』と云ふと醫者先生盆問ねないと思へば『宜しい』と云ひ惡いと思ふと『不可ん』と答ゐる、夫れを見て居る看護婦は醫者先生が時計片手に靜に患者の手を握つたまゝニコリともせずヨシとかイカンとか云つて退ける容姿に惚れ〳〵して勉めて之れを眞似るのだ不親切からではなく、豪がりたいからだと云ふ、然らば手治醫は横着かと云ふと頗る親切で市中の開業醫にも少い程官臭を脫して居る方だと云ふ、夫れでは矢張り不親切に出來上つてるのだ、元來醫者だつて報酬を貰つて診療に從事する以上は大工が庇を修理し左官が殿の扉を繕ろうのと同意味だから別段威張れる譯は無いのだ、況んや全然患者保護の爲めに雇はれて居ながら病人を看ることを好まぬと云ふ如な不親切な

看護婦は盲目に遠眼鏡と同樣病には人全然不必要だ僕は彼等の私行に就て多きを言はぬが公務に就てはヨリ多くを望むものだ、中等室上等室となれば看護婦も中等なのや上等なのが居るだらうと岡田榮氏夫人とも子さんが上等の方へ入院して居られると聞いたので見舞を申した、此所は赤字患者と云つて注意患者なので醫師の入室許諾を要した、附近三四室は皆赤字患者だと云ふのに室外では看護婦がキャッ〳〵と高笑ひをしてドタバタ巫山戲て居る

岡田夫人は「マア**騷々**しいことですねえ」と**淋**しく**笑**つて居られた、恐く事實だ。上等室でさへ此れとすれば下等室は比較的まだ劇が宜しい如だ、辭して「**施藥患者救護所**」を見るべく受付口に至つて「施料患者入院室を見せて貰い度いのですが」と言ると此不埒者奴と云つた風に「君は何者だ」と恐ろしく睨み回す、ホイ失策つた拙者の過ちと睨ながら名刺を出すと暫時して通された一室で高等官の服を着けた方に面會ィる、叮嚀に挨拶があつて差出された名刺を見ると『朝鮮總督府醫院、事務官代理醫員大槻三厳』とある『只今患者が満員で二名丈け普通室に居ります』と話し乍ら案内される案内者附きの視察は眼隠しを當てられた馬車馬と同樣手綱の命ずる所以外へ驟られないのだから情け無い体の好い拙劣だ大槻氏に從いて行く、夕食が済んだ處と見ねて炊事係が跡片付をして居る、瀟洒な温突に十數名宛雪白の寝衣蒲團を被つて横臥してる眉の間に些の不安の色も無い、大槻氏は語る『全快しましてもマダ氣分が惡いと申してナカ〳〵退院しませんのがあります、係りの醫官は神岡一亨氏で鮮語に精通して居るので患者も満足してる、目下救護所入院患者五十三名内四人が内地人である、通院患者は五百人からあります』との事であつた、猶ほ賄方、副食物等に就いても大に注文はあるが着々改良しつゝある樣だから控ゐる、

外來患者の控所は立派に竣成した此の冬からは寒風に吹き曝されて惡んで居なくても可い譯だ、改良なる哉(終)

●房枝物語(中)　井門支店

▽果敢ない昔の夢の跡

「ローレライ」歌つた口に商業的な愛嬌をふりまいたり、「バレット」持つた手に商品をさゝげ樣とは夢にも思つて居なかつただろうが、然し何事にも熱心なる彼の女の性は其の父の苦心を思つて父親の片腕となつて活動した。昨日迄浮世の風にもあたらず只美しく〳〵と育てられた彼の女が突然世の中と云ふものに直接に接したのだものをどうして變らないで居られよう。彼の女は變つて來た、暖く咲いては來たけれど生れながらの彼れの暗い性は其の半面となつて表面華やかな俠な女性となつて居た。たしかに脫線的な殺がれた性格を持つた異性の友とも自由に多く交つた、彼の女の冷靜を恨んで熱狂した詩人もある、あまたの縁談にも赤耳を藉さうともしなかつたのだ。此の間彼れは轉婆とそしられ淫奔とあざけられたがいづれも彼の女の心事を聞くに致つては潸然と涙した、彼の女にはいつわるべからざる、わざむく可らざる一人のダークサイト、許婚の愛人、優しき優しき健三なる人があつたのだ、何んぞ他を顧る暇のあるべきぞ健三は、琵琶會に美音を以つて知られた三田の秀才である、露子も入會して居た、金ベンの美はしき撥を投げるや否や琵琶取る健三の糸につい露子の房枝は能く唱つた、斯くして美しい戀は永久に幸あれと結ばれて居た。

江戸河畔に相携えて底唱微吟夜更くるをも忘れた事もある其の美音に恍惚たる房枝が或は『バチ』の音とはあたりの人の耳を眼をうばたしめたものだが此のまゝでは世は安らか目出度〳〵の月並だがうは行かぬ假然彼の女の家は彼產の止むなきに至つたのだ。房枝は突然何にともなし二番町の某華族家にやられた。これには深い深い仔細のある事で房枝は實に懼ろしして齒牙にかゝたのである。

一家の火急はすくはれる事を得たが彼れ房枝ははたして安然ではなかつた、一夜落花狼藉哀れ一枝の花は手折れたのである、房枝は驚きの餘り腦貧血を起した。

父親もあきむかれたのをいかつたが如何とも仕樣がなかつたのだ殿も驚いた然して湘南の片ほとりなる別荘に半年餘り病ひの身を養つて居た、殿が熱き心の通じた物か全快はしたが彼れは夢に現に健三の姿を畫いた居たのだ優しき音の葉を思ふて居るのだ妙なる琵琶の音を偲ぶに至つては殿が如何に厚き情も何にのものかわ人知れず彼れは東京に歸つた。

健三に逢いたさに歸つたのだ、忘れ難ねる、忘れ得ぬ健三の姿は終に見るを得なかつた。

彼の女は狂せんばかりに泣いた其昔偲ぶなる主なき琵琶を抱いて泣いた。

●支局長の公判　滿韓日報

▽井出三郎氏は狡猾也

滿韓日報京城支局長吉田松太郎(三七)の恐喝取財事件は二十七日午前十時より京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長高本多田兩陪席長尾檢事立會の下に公判開廷せられ被告辯護人として高橋皆川兩辯護士出廷せり被告は犯罪事實を否認し自分は井手三郎が民會議員候補者となりし以來晝夜寢食を忘れ運動の結果高點を以て當撰せしめたるものなるに同人は滿足に費用をも支出せずして斯る事件を惹起せしめたるものなれば自分の行爲は至當なりと申立て裁判長より井出は最初の運動費を否認する位なるに井手の承諾を得ずして再三數百圓の祝宴を爲したるは不當ならずやと問れたるに對しても其正當なるを主張し全然犯罪事實を否認せり事實の審問終つて證據調に移り辯護人より證人として辯護士岡田榮被害者井手三郎外五名の召喚申請ありて檢事は不必要の意見を述べ裁判長は合議の上岡田榮、井手三郎、篠田信二、井手の店員梅岡某の四名を許可し次回は來る十一月八日と決し閉廷したり

●英大使歡迎の宴

▽市原邸は宴見城

市原朝鮮銀行總裁は二十六日午後七時より滯京中なりし駐日英國大使マグドナルド氏及當地駐在同國總領事を主賓に寺內總督、山縣政務總監、明石總長小松長官、外波少將、兒玉秘書官、小宮李王職次官、藤田少佐、菱田通譯官等を招待し盛大なる歡迎の宴を開かれたり、中檢撰り拔きの美妓二十餘名酒間を周旋し耳熱する頃趣向を凝したる餘興手踊り等あり、花の如き美妓が主客の間を斡旋する樣恰も常盤の色かへぬ松の梢に纏れ搦める姬蔦の霜に賜りし紅葉の如、絃歌笑聲並び起つて市原邸は時ならぬ宴見城と化したり、主賓大使領事の滿足は言はずもがな、寺內總督、山縣總監、明石總長も滿足に始終笑み崩られたり、宴の徹せられたるは午前一時に近かりき

社告

天長節奉祝の爲め本社主催の下に舉行さる可京城藝妓總出の神田祭式手古舞行列に關する詳細は次號に於て發表仕候

十月　京城新報社

●本年の初雪

本月六日濟州島漢拏山(一名漢羅山)の絕頂に降雪あり積ること約五分に及べりと云ふ

●娼妓に迷ひ横領　原籍福岡縣遠賀郡長津村大字中間當時京城北米倉町二十八番地雜貨商井町方店員岡部宋三郎(三六)は本年八月渡鮮して井町方の店員となり最初は正直に働き居りしが其內井町方の掛金代金六十餘圓を所々にて横領し又井町方の名を利用して他所より金圓を詐欺し新町遊廓萬遊樓娼妓小柳の色香に溺れ酒色に消費したる事發見せられ龍山憲兵分隊の手に捕はれ横領詐欺取財犯として二十七日檢事局に送らる

●仁川の判決三件　▲賭博　小田夏四ケ月高平りの二ケ月奥田高次郎四ケ月松川万吉二ケ月の懲役和田勇助は罰金三十圓に孰れも一昨日仁川區裁判所にて判決▲窃盜　自轉車泥棒の淺井千外司は懲役一年に處せらる▲窃盜　木材泥棒の鄭榮順は笞九十の處刑

●不埒な司令部小使　鹿兒島縣人當時龍山軍司令部小使松崎常彥(十九)は二十六日午前九時南大門內交番所前にて來倉町松村明八の長女みよ(十四)に人力車を乘掛け負傷せしめ其儘逃走せんとせしを通行人藤田某が不都合を詰りて呼止めたるに暴言を吐きしより警察署に突き出され說諭放免

●雇人は泥棒　仁川松坂町一丁目硝子製造所久野專太郎方にて去春頃より屢々物品紛失し尙數日前懷中時計紛失せしより仁川署に訴出でたれば小池刑事出張し同家雇人多所面水鼈洞金春生(二〇)を嫌疑者として引致取調の結果前記の犯罪逐一自白に及びたるが尙餘罪ある見込なりと

●總督の供先を斷る　長谷川町一丁目四十六番戶岐阜縣人理髮職八野與三郎(三七)は二十六日午後四時半頃寺內總督がソンタクホテルに英國大使訪問の歸途長谷川町通過に際し警衞巡查が一時通行を止めたるに與三郎は命に應せず人力車にて通行せんとして警察に引致され說諭放免

●無錢飲食の上亂暴　原籍慶尙南道濟州島生當時京城漢城病院雇人コック金澳杓(三九)は二十六日夜十一時頃仁川花町二丁目寺脇良吉方に來り溫飩蕎麥柿等を食ひ代金を支拂はざるのみか亂暴を働き居たるより拘引さる

●日高貞夫送らる　既報鹿兒島縣人當時本町一丁目代書人日高貞夫の私書僞造行使詐欺取財事件は檢事局に送られ境檢事の手にて豫審に付せらる

●因果應報　南部會洞八十四統七戶人夫金春西(三八)は二十六日午後七時頃泥醉して今童令を鄰固にて毆打し南部署に突き出され笞二十に處せらる

●私書僞造行使　本町一丁目裏通り居住荒川虎之助は私書僞造行使詐欺取財犯にて南部署に檢擧され目下取調中

●演藝だより

▲壽座　好人氣なる後藤一行廿八日も二十七日同樣一座の十八番とする「乳姉妹」にて開演

▲歌舞伎座　片岡鶴之助一行二十八日の狂言は「元和三勇十戶田新八」切り義士銘々傳

▲浪花館　二十八日の番組左の如し　明石船(枝輔)廿四孝(圓松)奇術(一喜代子)骨釣(小圓)延丁稚(圓三)武士バケツ(圓口)掛取萬歲(芝鶴)太神樂(福樂)二人クセ(福圓)音曲(ジョンペール)切喜劇(總出)

●シノサキ商店の改築竣成　本町一丁目郵便局前に頗る理想的の建築をなし一異彩を放てるシノサキ商店は從來より着實と勉强を以て顧客の好評を博しつゝありしが今回の改築と共に一層營業を擴張し測量器械文房具和洋紙帳簿其他同店營業科目にある品々は洩れなく取揃へ縱令少額の買物客に對しても細路にすら串なく店主店員懇切叮嚀を旨として顧客に接し居れば同店の繁昌は益々其度を極むるに至るべし電話は六百四十八番と七百五番

●珍花福壽草苗の分與　新年の飾花として珍賞せらるゝは福壽草なるが今回長野縣下高井郡延德村の宮島銀兵衞氏は有名なる岳北產の福壽草にて極濃黃金色長大辨八重寒紫紅なる大々輪咲の强苗五本宛を一組とし一組毎に送料箱代共實費二十錢を送る人には明細なる繁殖栽培法を添へ枯死せざる樣充分に荷造りをなし何處迄も送り届ける由を本社へ通信ありたり

●草花栽培書の無代配布　岡山縣邑久郡長船農事試驗場にては送費郵便切手三錢を送れば草花栽培書及び朝顏栽培秘法書を何人にも無代送與する由通知ありたり

●開進亭の大勉强　旭町三丁目料理屋開進亭は本年七月以降流行妓の藝妓四五名落籍され殘る四五名は不幸にして病氣に罹り入院せし爲め營業も一時中止せしが今般大改革して美形四五名を內地より輸入し來り殊に開業七週年に相當するを以て大勉强を以て安値に新鮮美味の調理を爲しつゝありと

三面寄書

●撞球界の大撰手　鈴龜の人格

フロック生投

二十五日巴洲亭に於て京城撞球界第一の拙手のチャンピオン青木堂君の五十點に對し二千點を以て對戰したる鈴木龜太郎、彼れは年齒漸く丁年異角の顏角張の頭髮は其の勸止と共に飽迄も四角張屋なることを思はしひ、青木堂君の腰振りは如何にも萬人に得難き奇拔の『スタイル』たりき、始終十數棒にして持點の二千を缺くこと百余點、終に青木堂君の勝利に歸す、日本一の大拙手が日本の大撰手を倒したることなれば其喜や思ふべしだ、鈴龜行の京城に入るや、京日紙の聲援大なるにも不拘二時間にして同好者をして失望せしめた、彼れと同行する高木とやら云ふものゝ舉止体度の非禮式なる、一行の主たる目的が我國中古の所謂武者修行的漫遊に非ずして玉突器具販賣家の走狗として到る處の器具を批難して止まざるが如きは單に商賈上の懸引としても左もわらんも紳士的娛樂競技外の大撰手たる彼の人格はゼロなり、彼れ等一行の体度は大に京城紳士を侮辱するものなり、予は巴洲亭に於ける彼れの技術も日亦其体度に注視したるに多衆は敬意を拂ふて静肅を保ち彼れを送迎するにも不拘拘の出入に挨拶もせず宛然無人の途を行くが如き體度は何かと非禮であらう、加ふに新聞玉臺の羅紗に三四點突傷を遺して恬然たるが如き大膽手か大賊手か、嗚呼彼れは遂に日勝亭のボーイたるを脫し能はざるか

廣告

○正誤　十月廿二日附本紙三面欄內の朝鮮總督府廣告中「十二月廿三日」とせしは「十月廿三日」の誤りに付正誤す

諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候

京城本町三丁目 大阪野村徳七代理店 田中友吉商店 電話九九三

飲めば氣持よくなる 消化と毒けし 必ず懐中せよ 何人も
JINTAN 仁丹 ジンタン

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番●千六十八番 振替口座京城十六番

淺田飴
肺病より起るたんせき 咽喉をうるほし聲を發せしむ 病後のよわり 貧血性諸疵
本舗 東京 大阪 堀内

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八番 振替口座京城十六番

小兒かんむしの良藥 保壽圓
効能 ○ひかん○むしけ○ちゝあまし ○ひきつけ○ねあせ○ちばなれ ○かべつちをかむ○かほてあしつりなどに大効あり
價五錢●十錢●二十錢●五十錢
本舖 大阪常盤橋 高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す

代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂 同 南大門通三丁目 新井藥房

●うちみ くじき はねつぎ●
◎家傳◎かつけ◎胃腸病◎專門灸治
京城明治町一丁目百十
荒川摩擦術療院 電話は(一五八七番)

東亞セメント大樽及小樽
右今回京城龍山一手販賣特約致候に付き多少に不拘御命願上候
鴨緑江營林廠製材及原木 日本板材木販賣
京城旭町二丁目 小森材木店 電話長七四四番

米穀 株式
仁川米豆取引所仲買人 倉重商店
大阪株式取引所仲買人 北治株式店

英國製 SWEET HOME BIRMINGHAM ENGLAND
直輸入新荷着
車體堅牢にして優美 スヰトホーム號
歐米各國自轉車直輸入商 京城本町二丁目 織居商店自轉車部 電話四八〇番(電略オ)

米 公 山 株 債
京城古市町(南大門停車場前)
米穀有價證券現物問屋
合名會社 柴山組
電話一二九八增設電話一六八八番
相場高低表日報及店員を派遣して御知らせ致します

眼科專門
前大韓醫院眼科部長 金井豐七
京城本町六丁目(憲兵司令部通り) 金井眼科醫院 電話一五五六番

火災盜難保險附 高崎製金庫
特別大割引 大放賣
京城南大門通り三丁目 清韓洋行 電話四九四番 振替口座京城四九四番

獵銃 火藥 獵具
增戶銃砲店 京城本町六丁目

●洋藥品各種類 ○最新新藥各種類 ●鑛山分拆用機械類 ○細菌學用器械藥品 ●繃帶材料 ○醫療用器械 ●理化學用器械藥品 ○敎育用器械標本 ●藥局用器械材料 ○消毒用器械藥品 ●工業用藥品 ○有名賣藥御賣

總督府各官衙御用達 官公私立各病院御用達
京城本町一丁目(電話三七二番)
山岸天佑堂藥房
調劑の御依賴に應す

効能ある温泉
浴用効能 りようまちす、ちうふう、しんけいつう、ぜんそく、かつけ、らいびよう、ばいどく、せいできもの、ひんびよう、しようかち、ひのいたみ、つきやくふちゆん、ひせんがんがさ其他皮膚病一切
外用効能 きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、おせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、うちきづ、ひぜん、はのいたみ、いんてうかたる
内用効能 ひんけつ、しんぞう、おびよう、ちようかたる、らいびよう、はいびよう、たうだん、かつけ、しんけいつう、りようまちす、せきずい、じんぞう、ちゆうふう、げり、はらいたみ、病後衰弱、しようかち、酒のよい
旅館 浴客 貸席 鐵冷温泉
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手(電話一四一一番)

元祖 食パン
菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用 陸軍御用
製造御小賣商 京城太平町二丁目 相川兄弟商會(電話一一八九番)
釜山富平町二丁目 相川兄弟商會支店(電話二七六番)

建具製造販賣
◎◉◎ 襖材料御賣並ニ襖製造 仕入レ建具類及ビ附屬品各種 簞笥類各種
建具製造 襖材料卸 商 三好市太郎
京城南大門外御成町 電話五九六 振替口座京城二九七番

土耳古貰 S.K.S エスケーエス
專賣局定價一號金六圓二號金五圓 なれども朝鮮内は大安賣
特約販賣店 京城辻屋、龍山貴田、木浦冲永、馬山西川、公州中芝、平壤松昌洋行、鎭南浦宇津木
仁川 オチ商會 電話七三八(電略オチ)

齒科診療
京城本町二丁目三越呉服店前 野田齒科醫院
仁川仲町三丁目末永呉服店隣 野田齒科醫院分院

文房具 和洋紙 測量器械
日本政府檢定濟 度量衡器特許輸入販賣所
シノサキ本店
京城本町二丁目(郵便局前) 電話七百五番 電話長六四八番 振替口座朝鮮一五四番

弊館には夜警の設備有り
統監府陸軍指定旅館 鐵道院指定旅館の好き事 仁川水產組合指定旅館 第一各保險會社指定旅館なり
仁川海岸 旭屋旅館 電話二五一
御客様の安全此の上なし

度支部釀造試驗所釀造
芳香 佳絶
杏酒
本店 京城本町三丁目(電話二五〇番)
第一支店 同 本町一丁目(電話一三五四番)
第二支店 同 本町五丁目(電話三二二番)
大邱支店 大邱元町一丁目(電話三二〇番)
木浦支店 木浦銀座通
發賣元 海市商會

京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島專藏 (電話四百十二番)

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)
坂倉支店

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●
官衙、陸軍、銀行、會社御用達
京城本町四丁目 池田長兵衛 電話二百〇六番

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類 文房具學校用品類 卷紙封筒手帳類 帽子洋傘クツ鞄 洋服附屬品一式 メリヤス類一式 毛布膝掛馬車掛 石鹼香水齒磨類 タオル、ハンカチフ 手袋沓下袋物類
正札 一 引なし
和洋雜貨卸小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

京城明治町一丁目(森、村質店隣)
榊齒術所
電話は(六六九番)へ

M.C.C.
土耳古貰 紙卷
エムシーシー
專賣局定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤岡屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

笠齋流割烹 すゞ津袮
南山町一丁目 電千五百二番

本場精撰 茶
右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣ごも大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目(府廳通) 田中芳春園 電話四五〇番 振替京城五〇二番

東京流納豆大安賣

特製 寶味噌
御料理向
味噌製造漬物問屋 仁川本町三丁目 たからや 電話七三七番

名譽銀牌受領 キリンビール

キ
十月中 滊船出帆廣告
安來丸 十月 日前 時
天草丸 十月 日前 時
三省丸 十月廿八日前 時
海利丸 十月三十日前五時
安來丸 十一月三日前八時
舊島行 海州行 屯串行 海州行 大湖芝行
仁川本町四丁目 電話一七三番 七一〇
合資會社 秋田商會船舶部